2014 年度 小委員会活動成果報告

（2015 年　2 月　7 日作成）

小委員会名	ヒューマンファクターに配慮した 環境構築小委員会	**主 査 名**：横山計三 **就任年月**：2013 年　4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	環境工学委員会 （建築設備運営委員会）	**委員長名**：田辺　新一 **主 査 名**：郡　公子
設　置　期　間	2013 年　4 月　　～　　2015 年　3 月	
設　置　目　的 各年度活動計画 （箇条書き）	・人間中心の環境制御技術を検討し、環境構築の設計概念の構築を目指す。 ・初年度：研究事例、実施事例の調査、現状の把握および問題点の分析など ・2 年度：同上及びシンポジウム開催	
委員構成 （委員名（所属））	**委員公募の有無**：無 横山計三（工学院大学）、三浦克弘（鹿島建設）、野部達夫（工学院大学）、秋元孝之（芝浦工業大学）、田辺新一（早稲田大学）、半澤久（北海道工業大学）、大黒雅之（大成建設）、小金井真（山口大学）、佐々木真人（日本設計）、大宮由紀夫（竹中工務店）、近本智行（立命館大学）、村上宏次（清水建設）、小林弘造（日建設計）、島潔（大林組）	
設置 WG （WG 名：目的）	なし	
2014 年度予算	100,000 円	**ホームページ公開の有無**：無 **委員会 HP アドレス**：

項　　目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 （シンポジウム･セミナー等） *能力開発支援事業委員会承認企画	シンポジウム「ヒューマンファクターによる環境・設備デザイン」 2015 年 2 月 23 日開催
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	１．ヒューマンファクターに関連する実施事例調査：実施済。 ２．ヒューマンファクターに関する研究事例調査：実施済。 ３．シンポジウムの開催：実施（2 月 23 日実施）
委員会活動の問題点・課題	ヒューマンファクターを考慮した環境構築法として設計ガイドなど具体的な資料を整備していく必要がある。

＊小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

＊表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。

＊　小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
＊　中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用　自己評価欄

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	委員会では、以下のような事例収集や議論が行われた。 １．事例・資料 ①「人にやさしい空間」について ②「執務者の属性が温熱環境受容に及ぼす影響調査結果」 ③「大林組本館におけるヒューマンファクターの活用例」 ④立命館大学　理工新棟Ⅱ（トリシア）の紹介 ⑤人間行動計測を可能にするヒューマンビックデータセンサの紹介 など ２．シンポジウム（2 月 23 日開催)、プログラムを示す。 Ⅰ．趣旨説明及びヒューマンファクターの概要　横山計三（工学院大学） Ⅱ．特別講演 1.　行動科学と省エネ技術の組み合わせ：導入実績から得られる結論 ケン・ヘイグ（オーパワー日本） Ⅲ．研究 1.　東南アジアの冷房はなぜそんなに冷たいのか？　田辺新一（早稲田大学） 2.　ヒューマンファクターによる暑熱感緩和とパーソナル空調制御　近本智行（立命館大学） 3.　ヒューマンファクターと自己効力感　野部達夫（工学院大学） 4.　人にやさしい空間　黒木友裕（竹中工務店） Ⅳ．事例 5.　ヒューマンファクターを考慮した制御のためのハードウェア　滝澤総（日建設計） 6.　大林組技研本館－五感に働きかける環境デザイン－　島潔（大林組） 7.　鹿島技術研究所　本館研究棟の環境計画と運用実績　三浦克弘（鹿島建設） 8.　清水建設本社におけるヒューマンファクター活用に向けた運用状況調査 雨宮沙耶（清水建設） Ⅴ．総合討論

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画･目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価･外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。